

## 相生山のヒメボタル（姫蛍）



写真家 加藤文雄  
2014.5

ご本人より提供  
無断転載禁止

### 名古屋市 redlist2015 準絶滅危惧種 (NT)

目	科	種	学名
コウチュウ (甲虫)	ホタル (蛍)	ヒメボタル (姫蛍)	<i>Luciola parvula</i> (Kiesenwetter)

未だ分かってないことも多いのですが・・・聞きかじりも含めて

◆その一生 **成虫**・・・♀≒7mm（飛べない） ♂≒9mm

「ミカンの花匂うころ発生し、栗の花が匂いだすと消滅する」

1週間～10日間、発光により生殖相手を求める。交尾、産卵後死滅。

その寿命は雨や気温など天候の影響が大きい。人間からの圧力も。

**卵**・・・ $\varnothing=0.6\text{mm}$  孵化するまで1ヵ月程度

**幼虫**・・・孵化直後は2.5mm程度 陸貝などを餌にし、順調に成長できれば翌年3月ごろに**サナギ**へ・・・「成長不良な個体は更に1年、幼虫で過ごす」

◆その食べ物 成虫は水しか摂らない。

幼虫は陸貝の中に入りこみ、その身を食べるところが目撃されている。

「幼虫の餌は陸貝だけではないだろう。陸貝の数に比べてヒメボタルの個体数は多すぎる」（川瀬先生/愛知みずほ大）「調査中ですがヒメボタルの生息域と陸貝の分布域は必ずしも一致していない」（日野先生/名城大）

◆なぜ相生山に？ 地質・・・不透層（粘土質）の上に堆積層（砂・礫・腐葉土など）

幼虫の食餌となる陸貝などの生物が生育できる環境条件が残っている。

◆夜中が飛翔のピーク：人間が夜を明るくしてしまったので、発光効率を求めしだいに遅く。

「曇りの日に飛び数が少ないのは、雲が都会の光を反射して森のなかも明るくなるから」

象徴種＝flagship species としての相生山のヒメボタル

その美しさや魅力によって、世間に特定の生育場所の保存をアピールすることができる種。

「完全アウェイですよね わたしたち」

「ヒメボタルの生きている森 まるごと大事」

memo

- ・五感を澄ませて（自然な）森を体感
- ・十三夜のお月さま
- ・タケ（筍）の伸びる音
- ・テイカカズラ（定家蔓）の花の匂い
- ・クモ（蜘蛛）の糸
- ・建設中止になった、森を貫く計画だった道路
- ・いろんな人たちとの出会い



こんどは お屋の森にも  
お越しください



相生山の四季を歩く会  
次回は 6月12日（日）

9:30~12:00

シャシャンボ（小小坊）の  
花咲く道を楽しもう

水・森・いのちを守る  
ラブリーアース Japan

事務局（古川）

tell/fax 052-821-6463

ケイタイ 080-5124-6463

e-mail: viva\_forest@yahoo.co.jp

<http://lovelyearth.info/index.html>



<http://aioiyama.blog.fc2.com/>

情報・アピール・おしらせ・  
ひとりごと・ミニ知識・・・  
世界へ発信しています  
応援よろしくお願ひします